



今年も残りわずかとなり慌ただしい時期となりましたが、土器川リバーキーパーズの会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと思います。これからクリスマスにお正月と楽しいイベントも多い時期ではありますが、その反面体調を崩しやすい時期でもありますので、なにとぞご自愛ください。

今回は、「植生調査」と「古い時代の土器川」についてお知らせします。



キーワード: 植生調査

○概要

全国の1級河川におきまして、5年に1度植生調査を実施しております。土器川についても平成23年度に実施しましたので、その調査方法および調査結果を紹介します。

○調査方法

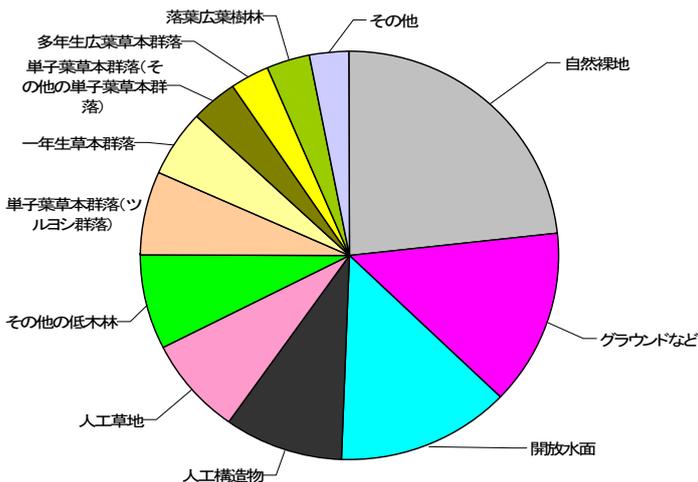
空中写真撮影の写真や既往の植生図をもとに作成した図面を使って、現地調査を行います。現地調査は、見通しの良い場所から植生を確認するとともに、踏査も行います。またGPSで分布位置を確認し、精度向上を図ります。



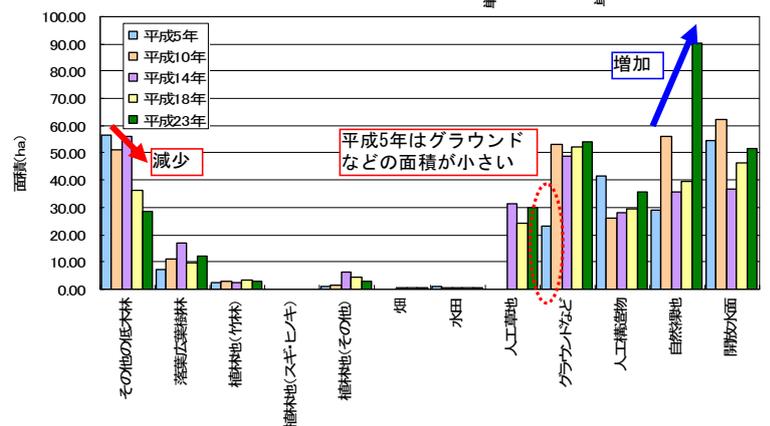
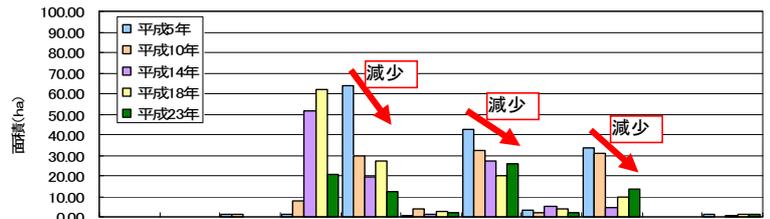
○調査結果および考察

作成した植生図から、現在の土器川の植生分布状況や群落組成などが判ります。

平成23年度は洪水が多く、その後に調査を実施したため、前回と比べて、植物の群落が流されて、自然裸地が多くなっていました。



平成23年度植生図における植生基本分類ごとの面積比率(%)

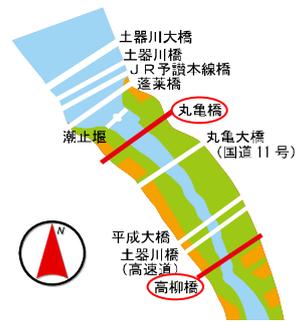


平成5年度～平成23年度の群落ごとの面積比較

キーワード: 古い時代の土器川

○概要

丸亀市の明治から昭和にかけて貴重な写真を綴った「ふるさとの思い出 写真集 明治 大正 昭和 丸亀」に古い時代の土器川の写真が数点掲載されています。古い時代の土器川の写真と同じようなアングルで撮影した現在の写真と比較しました。



撮影箇所位置図

○丸亀橋



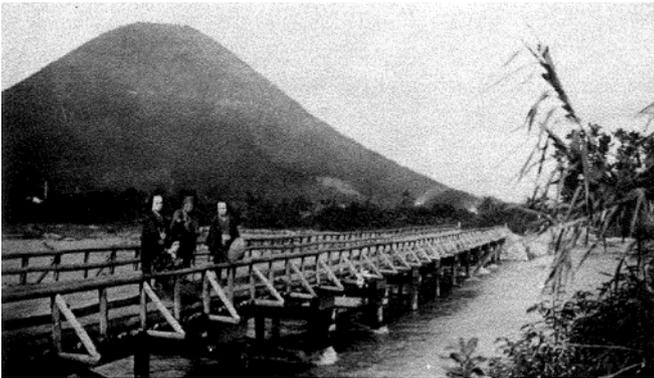
大正末期(1920年代)の丸亀橋



現在の丸亀橋

現在の丸亀橋は、当時に比べ見違えるような幅広い橋に変わり、車の往来がはげしくなっています。

○高柳橋



大正14年(1925年)の高柳橋



現在の高柳橋



昭和16年(1941年)の高柳橋

高柳橋は大正元年9月21日の台風で、堤防決壊とともに流失しました。つづいて大正7年9月14日の暴風雨で土器川が氾濫し、再度流失しました。

左上の写真は流失した橋を復旧した木造橋です。現在ははげしい自動車の往来にも耐える鉄筋コンクリート橋となっています。

左の写真は昭和16年に木造の橋から改造架橋された当時のもので、鉄の欄干が珍しがられていました。

出典:「ふるさとの思い出 写真集 明治 大正 昭和 丸亀」吉岡和喜治編 国書刊行会

土器川リバーキーパーズ通信は、皆様のご意見・ご質問に河川管理者としてお答えしていくものです。土器川に関して、気になっていること、わからないことなど、どしどしとご意見をお寄せください。

土器川リバーキーパーズに関するお問合せは



国土交通省四国地方整備局
香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>

〒760-8546 高松市福岡町4-26-32
TEL:087-821-1623(計画課直通) FAX:087-821-1713

